

## 令和2年度

### 社会福祉法人 湖南省社会福祉協議会

## 事業報告

### ＝ 事業総括 ＝

本会は、地域福祉を推進する中核的な団体として基本理念「一人ひとりがぬくもりと安心と希望にみちたまちづくりをめざして」に基づき、3年目となる「第三次地域福祉活動計画」の5つの基本目標に沿って、地域住民や諸団体の参加や協力、協働による多様な福祉活動や福祉サービスの推進に積極的に取り組んできました。

しかし、地域では、コロナ禍による外出自粛生活が長引き、多くの高齢者や障がい者等が今でも不安でひきこもりがちな生活を余儀なくされています。本会は、従来から、地域共生社会の実現をめざして、高齢者や障がい者のみならず、さまざまな理由で生きづらさを抱え、孤立しがちな人たちが安心して過ごせる居場所づくりや、その人らしく参加できるようにボランティア活動、役割を持って活躍できる地域づくりに取り組んできましたが、コロナの影響により地域はじめ社会福祉施設での活動は自粛や中止が多くありました。地域福祉（ボランティア）コーディネーターの役割が発揮できないままでしたが、給食サービス事業や生活支援サポーター事業を感染予防に徹底した中で市民による見守り活動が再開できたことは、ボランティアの皆様に対して感謝の言葉しかございません。

また、1月にコロナ禍ではありましたが、地域における支えあい活動の関心が高く、多くの方に参加していただき「わがまるフォーラム」を開催することができました。

一方、コロナ禍による一時的な休業や失業により生活が苦しくなった外国籍の方、フリーランスや自営業の方、失業者の方を対象に、緊急小口資金や総合支援資金の特例貸付の膨大な貸付業務に組織をあげて取り組んできました。本会職員一人ひとりが生活困窮者からの相談も受けることで、多くの方の生活の現状や困りごとについて実感することとなりました。本会として何かしなければならぬ使命感から市民や企業、行政の協力を得て12月に「フードドライブ事業」を実施、1月に食品ロスと子どもの居場所をテーマに「子どもの未来づくりフォーラム」を開催し、市民や企業に特例貸付等の状況報告と子ども未来助成金事業の啓発を行いました。

ホームヘルプセンター、いきいきサービス「なごみ」では、利用者をはじめ職員が感染予防を徹底しながら介護サービスの提供を継続的にできました。

今後も、本会ではコロナ禍の危機を乗り越え、ウィズコロナ・アフターコロナの時代にあっても、すべての人が違いやハンディを越えてつながり合え、支えあえる「新たな地域づくり」の取組み、離れていてもつながれるためのICT等を活用した取組みを行いま

す。また、生活困窮者を支援するために物資や食料品を調達する活動を市民や企業に広く呼びかけて必要な資金を募集する取組みを実施しながら「顔の見える社協」を目指して参ります。

## 1. 法人運営事業

### (1) 本部事業

#### 《法人運営事務》

##### ○理事会議の開催

開催日	案	件
2年6月4日	報告事項 議案第1号 議案第2号	会長・常務理事の職務執行状況報告等 令和元年度事業報告並びに会計決算書について 令和2年度定時評議員会の招集及付議案件について
2年9月3日	報告事項 議案第1号 協議事項1 協議事項2 協議事項3	会長・常務理事の職務執行状況報告等 令和2年度第一次補正予算（案）について 社会福祉協議会会費について 善意銀行について（フードバンク事業） 庁舎建設に伴う本会事務所について
2年12月18日	報告事項 議案第1号 議案第2号 協議事項1 協議事項2	会長・常務理事の職務執行状況報告等 令和2年度第2次補正予算（案）について 就業規程（案）一部変更について 第三次地域福祉活動計画上半期進捗状況について 令和3年度事業について
3年3月9日	報告事項 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号	会長・常務理事の職務執行状況報告 経理規程の一部改正（案）について 令和2年度第三次補正予算（案）について 令和3年度事業計画及び予算（案）のについて 令和3年度基金積立金の積立及び取り崩しについて 令和2年度第2回評議員会の招集及び付議案件について

○評議員会の開催

開催日	案 件
2年6月24日	議案第1号 令和元年度事業報告並びに会計決算書について 議案第2号 理事及び監事の選任について
3年3月24日	議案第1号 令和3年度事業計画及び予算について

○監査の開催

開催日	おもな内容
2年5月26日	令和元年度事業報告、決算、会務運営の監査について

○評議員選任・解任委員会

開催日	案 件
2年7月21日	評議員3名の選任について

○再発防止再生評価委員会

委員名	金子秀明、森本信吾、桐高とよみ
開催日	案 件
3年2月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再発防止の対策と現状報告について</li> <li>・役職員の研修状況について</li> <li>・再発防止再生評価委員会の今後の在り方</li> </ul>

○再生に向けての役職員研修会

開催日	研 修 内 容
2年10月28日	「組織における危機管理」 講師 認定NPO法人 あさがお 中原一隆 氏 ・グループワーク：「明日から取り組むテーマ」 出席役職員数 27名
3年2月8日	役職員事業・倫理研修のあり方について 「～次のステップに向けて～再生に向けての取り組み」 ・グループワーク：「聴く・グループワークをする研修から、自分で考え、目標を立て、評価してもらう研修プログラムに変えませんか」 出席役職員数 31名

○職員研修会

研修名	交通安全研修会、人権研修会
開催日	① 9月24日(木)午後2時～午後3時 ② 9月24日(木)午後3時～午後4時 ③ 9月25日(金)午前9時～午前10時 ④ 9月28日(月)午前11時～午後0時 ⑤ 9月28日(月)午後1時30分～午後2時30分 ⑥ 9月28日(月)午後2時30分～午後3時30分

	⑦ 9月29日(火)午後1時30分～午後2時30分 ⑧ 9月29日(火)午後2時30分～午後3時30分 ⑨ 9月30日(水)午後1時30分～午後2時30分 ⑩ 9月30日(水)午後2時30分～午後3時30分
内容	交通安全「生活道路での交通事故を防ぐために」 ①生活道路における交通事故について②生活道路における交通事故防止上のポイントについて 人権研修「わからないから、確かめ合う」 ーコミュニケーションー ①ハラスメント②外国人③障がい者④LGBT⑤働き方⑥同和問題について 出席職員 42名

研修名	人権研修会
開催日	内 容
3年3月4日	小規模法人ネットワーク化協働推進事業研修参加 「介護現場におけるハラスメントの法的留意点」 講師 高村 浩 氏 (高村浩法律事務所) 出席職員 15名

○第三者委員の設置と委員会

委員名	澤九仁男、植村恵子、近藤恵美子
開催日	案 件
2年12月15日	・福祉サービス苦情体制について ・令和元年度福祉サービス苦情状況報告

○財源検討部会

委員名	一部の理事、監事、評議員、区長会 (各学区長)
開催日	案 件
3年2月15日	・社協会費、共同募金、善意銀行について ・2グループに分かれて意見交換

○社協会費の納入依頼と徴収

- 7月 世帯社協会費依頼と徴収 ( 5,614,692円) ※前年 5,513,653円  
8月 法人・事業所社協会費依頼と徴収 ( 832,000円) ※前年 780,000円  
(計 6,446,692円) (計 6,293,653円)
- ・高額社協会費 (30,000円以上) 納入事業所の広告を本会広報紙に掲載  
対象 8社 (前年 7社) 掲載 6社 (前年 5社)

## 2. 地域福祉事業

### (1) 地域福祉活動事業

#### 《地域福祉活動推進事業》

○第三次地域福祉活動計画の推進と進捗管理

○地域たまり場づくり事業

管理する施設での施設事業と目的に沿ったたまり場事業の実施

ふれあいの館	毎週月曜日午後1時30分より「ふれあいサロン」を開催（手芸・囲碁などを通して交流）
社会福祉センター	1階ロビーでのコーナーとテレビの設置

○地域福祉支援事業

学区ごとに担当職員を配置し、まちづくり協議会活動等への協力や地域での活動支援を行った。

○地域見守り体制の構築

生活支援サポーター(ボランティア20名)による地域での見守り活動を実施し、主に一人暮らし高齢者(利用者11名)を対象に見守り活動を行った。

#### 《福祉出前講座》

地域住民や自治会・団体等を対象に、社会福祉協議会の事業、ボランティア、介護などの各担当職員を講師として派遣し、市民の社会福祉協議会や地域福祉への啓発と推進のため、福祉出前講座を行った。

開催回数	1回	参加人数	15名
依頼団体	自治会		
※コロナ禍で地域の活動は自粛傾向であったため、例年より依頼が減少した。			
依頼内容	①SUG(災害ボランティアセンター運営ゲーム)		

### (2) ボランティアセンター活動事業

#### 《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

##### 情報提供

- ・社協広報「ふくしの輪」のボランティアセンターだより
- ・市広報にてボランティア講座の参加者募集を掲載

#### 《ボランティア活動に対する相談、助言と調整》

- ・ボランティア依頼

(一般依頼：130回)

(定期的依頼：年間) 市内福祉施設、高齢者サロン、学童保育、小学校、国際協会など11施設(延べ42回)

《ボランティア講座の開催などによるボランティアの育成》

- 生活支援サポーター入門講座 参加者 13 名
- 災害ボランティア養成講座（全 4 回） 参加者延 131 名
- ボランティアサポート講座（全 7 回） 参加者延 89 名
- きつずぼらんていあ講座(全 7 回) 参加者延 141 名
- レイカディア大学ボランティア体験説明会 参加者 1 名
- 市内小中高校の体験学習

三雲小学校	3 年生 71 名 手話
水戸小学校	6 年生 59 名 車イス
石部南小学校	3 年生 37 名 点字・視覚障がい者のお話
岩根小学校	3 年生 38 名 手話・アイマスク

《ボランティア活動の組織化や交流の促進》

- 手づくり品販売会 令和 2 年 11 月 3 日（火）・4 日（水）  
V 連の主催事業ではあるが協賛し、ボランティア同士の交流、ボランティア活動についての理解を図ることができた。延 204 名の来場者があった。

《ボランティア活動基盤整備》

- ボランティア保険の加入
  - ・ボランティア活動保険加入 734 名（前年度 803 名）
- ボランティアグループへの活動助成
  - ・58 団体に助成（前年度 64 団体）

《その他》

- 備品貸し出し・・・車椅子、かるた、カラム、プロジェクターなど
- 高齢者見守り活動事業  
生活支援サポーターによる見守り活動事業の実施・・・年間 154 回（前年 183 回）
- ゴーヤカーテンプロジェクト  
ボランティアと市 23 か所（保育 5 か所、幼稚園 1 か所、こども園 1 か所、小学校 2 か所、児童施設 2 か所（市外 1 か所含む）、高齢者施設 9 か所、公共施設 4 か所）にゴーヤのカーテンの普及を推進するため、種まき、苗作り、棚にする竹の切り出し、棚作り、花壇作り、追肥などをした。
- 配食サービス事業  
ひとり暮らしの高齢者に対し、ボランティアの協力のもとに手作りの昼食を配達し、見守りも兼ねて行った

年間 14 回開催 延べ 692 個配食 <昨年計 1,031 個> 4 月～7 月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、その間にも集金担当の社協職員による利用者全員の安否確認を行った。また、7 月には、配達ボランティアより、絵手紙と経口補水液を届け、見守り活動を実施した。 約 50 個／回 配食
---

なお、給食サービスで安否確認できなかった一人暮らし高齢者に対して担当民生

委員へ連絡して安否確認を依頼した。

○災害ボランティアセンター設置・運営のための活動

- ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練 9月26日 参加者51名
- ・災害ボランティアセンター運営隊の育成（登録者46名）
- ・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの改訂

○リサイクルコーナー・手作り品販売コーナーの設置

- ・古着を1着100円で、手芸ボランティアの作品を希望される方に購入いただいた。

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になった事業

- ・障がい児支援ボランティア・スタッフ養成講座
- ・中高生ボランティア体験
- ・ボランティアまつり

(3) 広報活動事業

《広報発行事業》

○広報の発行

- ・令和2年5月発行（通刊41号 新聞折込）
- ・令和2年7月発行（増刊7月号 組回覧）
- ・令和2年10月発行（通刊42号 新聞折込）
- ・令和2年11月発行（増刊11月号 全戸配布）
- ・令和3年1月発行（増刊1月号 全戸配布）
- ・令和3年3月発行（通刊43号 新聞折込）
- ・ホームページの更新（随時）

○広報紙の配布先

市内

市役所、図書館、まちづくりセンター、公共施設、コンビニエンスストア、金融機関、大型小売店舗、ドラッグストア、病院など  
県内社協へ広報を配布した。

(4) 助成事業

《地区活動助成事業》

地域福祉活動奨励金の交付

各区の前年度（令和元年度：5,513,6535円）の社協会費額の50%を地域福祉活動のために助成した。

助成額合計 2,757,200円 <前年度2,799,400円>

《福祉団体活動助成事業》

市内の福祉関係団体に対し活動費を助成した。（10団体）

(5) 生活困窮者支援事業

○子どもの未来について考えるフォーラム

子どもたちが家庭の経済力に影響されることなく教育を受け、社会の中で自立していけるように、私たちに何ができるのか、何をしていくべきなのかを考えるフォーラムを開催した。

実施場所 甲西文化ホール

開催日 令和3年1月16日(土)

内 容 講演「もったいないを笑顔と絆に」

フードバンクびわ湖 理事長 曾田俊弘 氏

事例報告

・「子どものつぶやきに地域の大人がうごきました」

放課後スペース「ぴっころ」

来場者 117名

共 催 湖南省(住民生活相談室)

○湖南省社会福祉協議会子どもの未来づくり助成金

子どもの居場所づくり事業(子ども食堂、子どもの学習支援事業、その他子どもの支援に関する事業など)を行う団体に対し、必要な資金を助成し、子どもの未来づくり活動を支援する。

・事業準備経費助成金…10万円

・事業運営経費助成金…5万円

◎令和2年度実績

・・・3団体 206,920円(準備経費72,920円 運営経費…134,000円)

### 3. 生活福祉事業

(1) 生活福祉貸付事業

《生活福祉資金貸付事業》

生活に困窮した方(世帯)からの経済的な悩みの相談を受け、必要に応じ貸付制度の利用手続きを進めたほか、善意銀行事業による生活食糧品支援や、生活保護の対象と考えられる世帯を行政へ繋ぐなど関係機関との連携を行った。

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響による失業や、収入の減った方で、生活資金でお悩みの方に、特例貸付を行った。経済の回復が見込めない中で、令和3年6月末まで、4回の申込締め切りの延長が行われ、貸付希望が続いている。

○生活保護受給予定世帯を対象としての貸付(市)

種 類	件 数	貸 付
生活保護予定世帯繋ぎ小口資金		3 (昨年9)



○生活緊急一時としての貸付（県）

種 類 \ 件 数	相 談	貸 付
緊急小口資金	53 （昨年 62）	3 ……（昨年 7）
〃 【特例貸付】		1,088 （外 655）

※外…外国籍申請者

【特例貸付】…コロナで失業や収入が減った人が貸付対象 ◎申請受付は令和 2 年 3 月 25 日～令和 3 年 6 月 30 日まで

○失業による生活貸付（県）

種 類 \ 件 数	相 談	貸 付
総合支援資金	12 （昨年 2）	0 （昨年 0）
〃 【特例貸付】【初回】		1,042 （外 650）
〃 【特例貸付】【延長】		530 （外 344）
【特例貸付】【再貸付】		469 （外 307）
【特例貸付】合計		2,041 （外 1,301）

※外…外国籍申請者

○福祉による目的に応じた貸付（県）

種 類 \ 件 数	相 談	貸 付
福祉資金	46 （昨年 36）	3 （昨年 3）
教育支援	31 （昨年 24）	3 （昨年 8）

(2) 地域福祉権利擁護事業

判断の困難な方を対象に、日常の金銭管理や大切な物の保管など生活支援を行った。

・契約件数：65 件 <昨年 66 件>

内訳：認知症高齢者等 12 件 知的障がい者等 31 件  
精神障がい者等 18 件 その他 4 件

・年度内新規契約：12 件（認知 6、知的 4、精神 2、その他 0）

解約：13 件（認知 5、知的 5、精神 2、その他 1）

問い合わせ、相談援助件数	認知	知的	精神	その他	計
問い合わせ	2	0	2	0	4
問い合わせ初回相談	8	3	4	2	17
相談援助	691	1,408	1,412	232	3,743
<b>計</b>	<b>701</b>	<b>1,411</b>	<b>1,418</b>	<b>234</b>	<b>3,764</b>
<昨年度計>	(715)	(1,589)	(1,588)	(209)	(4,101)

○市民向け権利擁護セミナー

令和3年3月6日(土)午後、NPO法人甲賀・湖南成年後見センター「ぱんじー」と市民を対象にセミナーが開催された。コロナ禍での開催となり、甲賀市役所と湖南市社会福祉センターの2か所の会場で、ズーム開催となった。参加者数は17人。

(3) 介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス

《いきいきサロンなごみ》

要支援者と二次予防事業対象者の高齢者に趣味等の生きがい活動の機会と場を提供することを目的に実施した。

実施場所 石部軽運動場(石部老人福祉センター併設)

開設日 毎週火・水曜日

登録者 13名<昨年 18名>
年間 97回開催 延べ 630名参加 <昨年延べ 771名>
平均 約 6.4名/回、 約 52名/月 参加
利用者の送迎 630名/年

## 4. 受託事業

(1) 障がい児ホリデースクール事業

学校の長期休暇期間中に障がい児を対象に地域やボランティアの方々とふれあいながら健やかな一日を過ごせるよう、ホリデースクールを開催した。

① 夏季休暇中の16日間

新型コロナウイルスの感染拡大のため、中止。

② 冬季休暇中の1日間

12月18日の1日間

「クリスマスカード・人形劇のお知らせ送付」 社会福祉センター

参加児童生徒 延べ 55名

スタッフ 延べ 3名

ボランティア 延べ 4名

③春季休暇中の1日間

3月26日の1日間

「さわらび福祉会手作りクッキー・ぬり絵付きメッセージカード・スタッフ手作りキーホルダー送付」 社会福祉センター

参加児童生徒	延べ	51名
スタッフ	延べ	4名
ボランティア	延べ	3名

(2) 高齢者生きがいサロン事業

《みくもいきいきサロン》

65歳以上の方を対象に健康維持、自立支援の助長、介護予防仲間づくりを目的に実施した。

実施場所 三雲地域人権福祉交流センター（三雲ふれあいセンター）

開設日 毎月第1、第3金曜日

登録者	20名
年間19回開催	延べ239名参加<昨年延べ257名>
平均	約13名/回 参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月2回、5月2回は中止とした。

(3) 生活困窮者自立支援事業 家計改善支援事業

市住民相談室(自立相談窓口)等の各専門機関と連携し、生活困窮世帯を対象に家計管理を中心とした家計改善支援を行った。生活福祉資金貸付とも必要に応じて連携をとった。

項目	世帯数/件数
利用世帯数	7世帯/年 昨年(7)
相談件数	0件/年 〃(6)
支援件数	35件/年 〃(74)

※相談件数…契約前の相談数 支援件数…契約後の支援件数

(4) 生活支援体制整備事業（第1層地域支えあい推進員の設置）

○今年度より、各まち協（まちづくりセンターごと）に第2層地域支えあい推進員が設置された。新任推進員研修の実施から、情報提供や共有する場の開催、地域に出向き、住民同士のつながりづくりや地域課題を共有し協議する場（地域支えあい推進会議）に参加したり助言を行い、支えあい活動やまちづくりの展開への支援ができた。

- ・新任推進員研修（勉強会）の実施 4/15、5/20 対象：3名
- ・地域支えあい推進員連絡会議の開催

毎月実施（1月は1層推進会議に移行のため未開催）11回

- ・まちづくり連絡会議の開催  
地域に出向き、まちづくり協議会役員、行政と近況や課題の共有を定期的に行った。（2～3ヶ月毎・各まち協で4～5回程度）
- ・1/20 第1層地域支えあい推進会議  
子ども、障がい、高齢、地域等の各分野で取り組みをされている団体に参加してもらい、活動状況の共有を行った。
- ・第2層地域支えあい推進会議への参加  
各まちづくり協議会と2層推進員が実施する会議へ参加した
- ・9/15、2/8 支えあいのためのまちづくり協議会会長会議の開催  
まちづくり協議会間での活動状況や共通する取り組み課題などについて話しあう場として開催した。地域での課題解決に向けた取り組みへの参加
- ・1/16 我がごと丸ごとの地域づくりのために…「わがまるフォーラム」開催  
演題「支えあいの地域っておもしろい！」  
講師：ご近所福祉クリエイター 酒井保氏 参加 92名

## 5. 居宅介護事業

### (1) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

#### 《訪問介護事業》

介護保険事業として、高齢者の方々を中心に、身体介護や生活援助の訪問介護サービスを提供した。

介護保険訪問	介護予防日常生活支援総合事業
利用者 延べ 762名/年 ＜昨年 861名/年＞	利用者 延べ 166名/年 ＜昨年約 175名/年＞
約 69名/月＜昨年 71名/月＞	約 13名/月＜昨年 19名/月＞
訪問回数 延べ 11,931回 ＜昨年 11,799回/年＞	訪問回数 延べ 908回 ＜昨年 1,097回/年＞
約 983回/月 ＜昨年 1,110回/月＞	約 75回/月 ＜昨年 91回/月＞

### (2) 障がい者総合支援事業

障がい者総合支援制度に基づき、本会では居宅介護事業（身体障がい者ホームヘルプサービス・同行援護サービス）を実施し、利用対象者にサービスを提供した。

ホームヘルプサービス	同行援護サービス
利用者 延べ 274名/年	利用者 延べ 59名/年

＜昨年 399 名／年＞	＜昨年約 74 名／年＞
約 22 人／月 ＜昨年 28 人／月＞	約 5 人／月 ＜昨年 6 人／月＞
訪問回数 延べ 1,696 回 ＜昨年 2,358 回／年＞	外出回数 延べ 223 回 ＜昨年 277 回／年＞
約 141 回／月 ＜昨年 196 回／月＞	約 18 回／月 ＜昨年 22 回／月＞

《湖南省障がい者等移動支援事業》

屋外での移動が困難な視覚障がい者（グループ）に対して、外出のための支援サービスを提供した。

2 対 1	3 対 1
利用者 延べ 28 名／年 ＜昨年延べ 22 名／年＞ 約 4 名／月	利用者 延べ 3 名／年 ＜昨年 0 名／年＞ 約 0.1 名／月
訪問回数 延べ 53 回 ＜昨年延べ 26 回／年＞ 約 8 回／月	訪問回数 6 回 ＜昨年延べ 0 回／年＞ 約 0.5 回／月

(3) 特定相談支援事業

障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、障がい者福祉サービス等の利用計画の作成等を行った。

利用者 延べ 37 名／年 約 3 人／月 ＜昨年延べ 35 名／年＞
-------------------------------------

(4) 子育てホームヘルプサービス事業

《多胎児家庭ホームヘルプサービス事業》

多胎児を持つ世帯に対し、家事や育児などの生活支援ホームヘルプサービスを市受託事業として実施した。

延べ 1 名、2 回／年 ＜昨年計 12 名、2 回／年＞
約 0.1 名／月、0.1 回／月 ＜昨年計 1 名、7 回／月＞

《子育て支援ヘルプ事業》

生後 3 歳までの乳幼児のいる世帯に対し、家事や通院、育児など様々な活動の支援を市受託事業として実施した。

延べ 4 名、7 回／年 ＜昨年計 12 名、40 回／年＞
約 0.3 名／月、0.5 回／月 ＜昨年計 1 名、3 回／月＞

(5) 特定旅客自動車運送（福祉有償）事業

特定旅客自動車運送事業者（道路運送法 43 条及び 78 条を取得）として介護保険事業及び障がい者総合支援事業の契約者を対象に、通院や買い物など契約サービスと一体的に移送サービスを実施した。

延べ 185名、352回／年	<昨年計 147名、225回／年>
約 18名／月、35回／月	<昨年計 12名／月、18回／月>

新型コロナウイルス感染拡大の中、全職員に対して、起床時の検温、発熱時の連絡体制の確立、サービス提供前後の手洗い、手指消毒などの感染予防の対策を徹底し、マスク、消毒液、ゴム手袋、ゴーグル、予防着等、衛生用品の確保に努めました。

また、訪問看護ステーションの協力のもと感染予防の研修の実施。業務遂行にあたっての注意ならびに厳守事項をご利用者さま宛てに通知させて頂くなどできる限りの努力をし、ご利用者様・ご家族様が安心して生活が出来るよう支援しました。

## 6. 施設管理事業

### (1) 社会福祉センター管理事業（指定管理）

市（社会福祉課）から指定管理（平成 30 年度～令和 2 年度）を受託し、貸館業務、施設管理業務、また施設事業として関連情報の提供やたまり場事業等を行った

=貸館状況=

年間延べ 691 件	<昨年 1,057 件>
平均 約 57 件／月	利用

※新型コロナウイルスの影響で市の要請より、貸館事業を一時休止したため、利用件数が前年度より減少。

### (2) 石部老人福祉センター管理事業（指定管理）

市（高齢福祉課）から指定管理（平成 30 年度～令和 4 年度）を受託し、専従の管理人を配置して貸館業務、施設管理業務を行ったが、高齢者を対象にした風呂の利用、サロンの開催、健康推進事業などは新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

=貸館状況=

年間延べ 321 件	<昨年 延べ 739 件>
平均 約 27 件／月	利用

= “和の湯” 利用状況（利用料 1 回 100 円） =

年間延べ 0 名	<昨年 延べ 1,170 名>
平均 約 0 名／月	利用

=軽運動場管理事業=

年間延べ 392 件	<昨年 延べ 620 件>
平均 約 33 件／月	利用

○ふれあいサロン「みんなのまめ講」の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

延べ 0名参加 <昨年延べ 495名>
---------------------

○老人福祉センターまつりの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

○老人福祉センター「将棋大会」の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

○シニア応援講座の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止した。

### (3) ふれあいの館管理事業（指定管理）

市（社会福祉課）から指定管理（平成30年度～令和4年度）を受託し、専従の管理人を配置して施設の貸館を含めた管理業務を中心とし、施設の事業として位置づけられたボランティア活動として次のような事業を行った。

#### 《施設管理事業》

年間延べ 424件 / 2,974人 <昨年 延べ 624件>
---------------------------------

約 35件 / 248人 月 利用
-------------------

#### 《たまり場事業》

毎週月曜日午後1時30分より「ふれあいサロン」を開催

（手芸・囲碁などを通して交流）

#### 《その他》

○備品貸し出し 文房具・ゲームセット・本・遊具など

## 7. 善意銀行事業

市内外から善意による金品の寄付を受け、寄付金の一部については地区活動助成事業やボランティアセンター活動事業に役立て、また米や物品などは生活困窮者や施設への提供あるいは本会やボランティア活動に提供するなど、多方面へ役立てた。

寄付総額 1,200,680円 <昨年 1,892,354円 >

寄付物品 米、マスク、オムツ等

#### 《催し物器具の貸出事業》

地域での行事やイベントに必要な催し物器具を次のとおり貸し出した。

・貸出件数 合計 11件 <昨年 82件 >

	かき氷機	綿菓子器	ポップコーン機	たこやき器	鉄板
2年度	3件	5件	3件	0件	0件
<昨年度>	(20件)	(34件)	(21件)	(0件)	(7件)

#### 《福祉機器貸出事業》

車椅子の貸し出し 貸出回数 21 回（令和 3 年 3 月末現在）＜ 昨年 42 回 ＞

#### 《福祉自動販売機設置事業》

社会福祉センター、老人福祉センターに自動販売機を設置し、設置手数料を福祉事業への財源確保に努めた。

#### 《フードドライブ事業》

コロナ禍における生活困窮世帯等への食糧支援と食品ロス解消を目的に事業を実施した。社会福祉センター等の社協管理施設、市役所および石部高校にのぼり旗と回収ボックスを設置して食料品の寄付を募り、企業にも食料品の提供をいただいた。12 月 12 日（土）には社会福祉センターにて市民に対し集まった食料品を配付した。

- ・食料品収集：12 月 1 日～12 月 11 日
- ・寄付総重量：約 1, 120 kg
- ・配付日(12/12)の参加者：228 人
- ・協力団体：市民児協、ボランティア連協、石部高校、フードバンクびわ湖

## 8. その他(おもな事務局事務ならびに出役した委員会)

### 事務局

- ・湖南市民生委員児童委員協議会事務局
- ・滋賀県共同募金会湖南市共同募金委員会事務局
- ・日本赤十字社滋賀県支部湖南市地区事務局
- ・遺族会、その他福祉団体等の事務補助
- ・湖南市介護保険事業者協議会事務局

### 市関連

- ・湖南市総合計画策定委員会
- ・湖南市民生委員推薦会
- ・湖南市地域福祉推進協議会
- ・湖南市子育て支援センター運営委員会
- ・湖南市要保護児童対策地域協議会
- ・湖南市子ども・子育て未来会議
- ・湖南市訪問看護ステーション運営委員会
- ・湖南市地域包括支援センター運営委員会（部会）
- ・湖南市地域支えあい推進会議
- ・湖南市介護保険運営委員会
- ・湖南市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会（部会）
- ・湖南市在宅医療介護連携推進協議会



- ・ 湖南省地域ケア会議
- ・ 自立支援型地域ケア会議
- ・ 湖南省高齢者虐待防止対策推進協議会
- ・ 湖南省障がい者計画及び障がい福祉計画策定委員会
- ・ 湖南省障がい者の人権を守るための連携協議会
- ・ 湖南省障がい者施策推進協議会
- ・ 湖南省福祉有償運送運営協議会
- ・ 湖南省人権まちづくり会議
- ・ 湖南省人権擁護審議会
- ・ 湖南省企業・事業所人権啓発推進協議会
- ・ 隣保館支援方策検討会（三雲、夏見、柑子袋、松籟、岩根）
- ・ 湖南省自殺対策計画策定委員会
- ・ 健康づくり湖南推進協議会
- ・ 湖南省交通安全推進協議会
- ・ 甲賀・湖南ひきこもり支援『奏一かなで』運営会議（部会）
- ・ 湖南省青少年育成市民会議
- ・ 甲賀地域障がい児・者サービス調整会議（部会）
- ・ 甲賀・湖南成年後見センターぱんじー
- ・ 甲賀市・湖南成年後見制度利用促進基本計画策定委員会
- ・ 市内各まちづくり協議会（支えあい推進会議、委員会、部会）